

**全国有力100社  
アンケート調査**

**「横ばい」が46%で最多**

**弱基調回答は39%  
強基調回答は15%**

**1月の鉄スクラップ相場動向**

弊紙実施の100社アンケート「1月の相場動向」の結果がまとまった。全体(電炉、商社・シッパー、市中業者、全ての合計)の結果は、「横ばい」が46%で最多だった。次いで多かったのは「やや弱気」で35%。「弱気」は4%で、39%が弱基調の回答となった。「やや強気」は3番目に多く14%を占め、「強気」の1%を合わせて15%が強基調の回答となった。

◆業種別～電炉メーカーは回答が分散

電炉メーカーの回答は今回も分散傾向にあり、「やや弱気」が39%、「横ばい」が31%、「やや強気」と「弱気」がともに15%で並んだ。

商社・シッパーは、「横ばい」が60%、「やや強気」と「やや弱気」がそれぞれ20%となった。

市中業者のトップは「横ばい」で、47%を占めた。次いで「やや弱気」が36%、「やや強気」が13%、「強気」と「弱気」がそれぞれ2%と続いた。

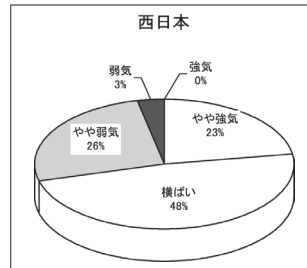
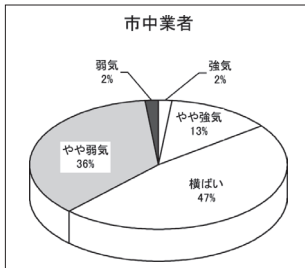
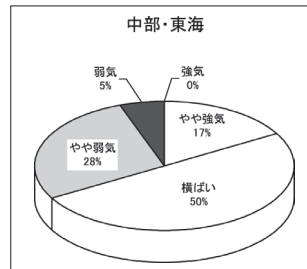
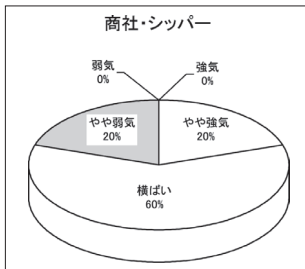
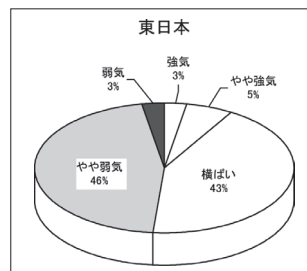
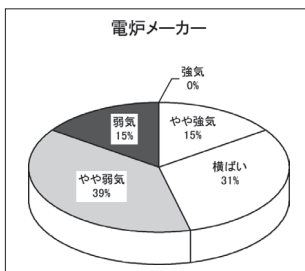
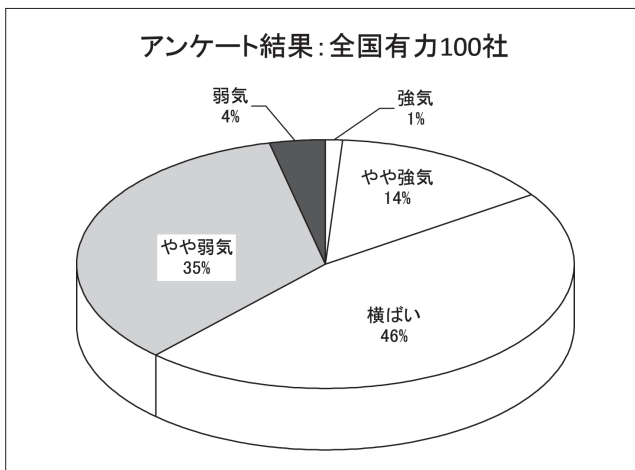
◆地域別～東日本は「やや弱気」がトップ

各地域とも横ばいが4割以上を占める中、東日本のトップは「やや弱気」で46%と、他地区に比べて多かった。「横ばい」は43%だった。中部・東海では「横ばい」が50%だった。「弱気」は5%、「やや弱気」は28%と、弱基調の回答が比較的多かった。西日本も同様の傾向となり、トップは「横ばい」の48%、「弱気」が3%、「やや弱気」が26%、「やや強気」が23%だった。

<個別コメント(一部)>

▼米国内相場は年明け値上がりが見込まれているが、韓国は2月上旬まで一定量の調達を済ませており、また日本国内は、1月の高炉購入が大幅に減少するため、国内需給は緩和傾向にあり、調整下げに動くと思われる。▼1月は弱基調にて開始するものの、1/11からの3連休にて品薄状況となり、1月平均的には横ばい推移するものと想定。▼高炉メーカーの購入減少となれば、弱含みは確実だが、3月までは生産好調が継続すると想定され、高値圏継続と推測。▼強弱の判断が難

しい状況ではあるが、横ばいで行くと思われる。▼メーカー減産、年末環境によるスクラップ発生増で需給が緩む。



**Innovation for further growth**  
製鋼原料卸・計量証明事業

株式会社 **ミヤザキ・メタルサービス**

MIYAZAKI <http://www.miyazaki-metal.com>

本社 大阪市淀川区三国本町1丁目17-19  
TEL(06)6393-8401(代) FAX(06)6399-0313  
ISO14001認証取得

野中工場 大阪市淀川区野中北通1-1  
TEL(06)6393-8027

三重支店 三重県伊賀市予野4938-120  
TEL(0595)20-1601 FAX(0595)20-1602  
ISO14001認証取得

エコ・リサイクルラボ 三重県伊賀市予野4949-15

【全国有力100社アンケート調査概要】  
■回答方法:1月の鉄スクラップについて「強気」「やや強気」「横ばい」「やや弱気」「弱気」から選択回答  
■対象:100社(業種別:メーカー12社、商社・シッパー16社、市中業者72社)(地域別:東日本40社、中部・東海20社、西日本40社) ■調査期間:12月24日～1月8日 ■回答率:84.0%(東日本87.5%、中部・東海90.0%、西日本77.5%)